

平成22年度 神戸市立神港高等学校 マネジメントプラン報告

A(1) 学力向上のための授業改善

具体的方策(取組内容・状況)	達成状況	自己評価	今後の課題	学校関係者評価
① 教科研修実施 目標と指導と評価の 一体化	授業見学報告書まとめ	0.86	・オープンハイスクール中学校側のアンケートによる反省 ・オープンハイスクールの実施形態の研究が課題である。	A-1B-3
② 授業公開週間と研究会の充実 ・保護者、地域の参加	・授業公開週間(9月6日から17日)予定 ・自治会、保護者の参観 授業公開週間見学報告書 ・各教科での振り返り会の実施し、「分かる授業」の為の授業改善策協議。	0.93	・開かれた学校として、自治会・保護者の方が参観しやすい環境づくりが今後の課題である。	
③ 授業規律の確立と生徒授業アンケート ・家庭学習確立のための手立て	・生徒授業アンケート12月1日実施予定・生徒授業アンケート分析 全36項目中、達成率 21項目がアップ 14項目がダウン 1項目が変化なし。3年間の推移分析(全体的に平均化傾向)。結果を全職員に配布。・「ア自主的な学習イ家庭学習 ウ授業規律について」3課題の、アは達成率はマイナスだが、昨年度に比べ0.33上昇、イは、全体的にややアップ、ウは事前準備等は0.01 0.06のプラス、居眠り私語も0.05と減少している。	0.63	・今後、授業に興味を持たせ、積極的に参加させる態度を育成することが課題である。	

学校関係者評価コメント

・授業公開週間を早期に実施することはよいことだと思います。・教員の努力により生徒授業アンケートも徐々に改善されているように思う。・授業研修の充実が望まれる。・保護者の地域への参加は大変難しく参加がしにくい。授業内容の特色化を図りながらの実験的な方法ができないでしょうか。生徒たちに疑問を投げかけ、進める授業等

A(2) 各科の特色を明確にし、学力、専門性の高い知識・技術の習得

具体的方策(取組内容・状況)	達成状況	自己評価	今後の課題	学校関係者評価
① 普通科 ・ソーラーコースの改善と活性化 ・ブロードコース(理系)の定着 ・ブロードコース(文系)の充実	・L科プロジェクトメンバーの教育課程案作成・甲南大学協定校入試へ1人チャレンジ(8/2・8/21)第2学年補習7月21～29日実施。勉強合宿7月25～26日実施 第1学年補習7月21～29日実施。勉強合宿7月25～26日実施 第1年文理説明会9月実施 第3学年補習7月21～29日実施。模試受験者(延べ数)1年 27名、2年47名、3年116名(3年は2回分)・管理職による中学校訪問実施 12月を目標 外部に対しての積極的広報活動・12/17ソーラー関西学院大学見学 12/7 8 14 16 普通科第2学区及び中華同文学校訪問、「しんぱち」カンパッジ配布。ソーラーコース、ブロードコース(入学前での普通科コース選択含む)授業公開週間見学報告書も配布。1月受検志望生徒に対するプリント配布 ブロード理系 甲南大学理工学部連携授業1/28実施	0.89	・中学校訪問時に、普通科のコース選択説明を実施している。その際、第1志望、第2志望生徒には、詳細な説明文も配布する形をとっている。しかし、複数志願制度になっていることにより、第二志望合格等の生徒には説明ができていない。・現在、通学区見直しに関する地域説明会、意見交換会が県教委により実施されており、注視すべき状況にある。・新教育課程において、理数科目の必修履修の関係で、現在の教育課程を検討している段階である。	A-3B-1

A(2) 学科の特色を明確にし、学力、専門性の高い知識・技術の習得

具体的方策(取組内容・状況)	達成状況	自己評価	今後の課題	学校関係者評価
<p>② 商業科 ・C科プロジェクトの推進 ・習熟度別授業の研究</p>	<p>・甲南大学会計大学院教授との懇談。会計大学院への進学等についてレクチャーを受ける。・大原簿記での夏季集中セミナー7月20～23日 参加生徒2年12名1年35名・全商英検対策補習8月下旬～9月上旬 ・6/12 全商簿記1級4名2級45名 ・2学期より1年生簿記の授業は習熟度別にクラス編成実施。習熟度の高いクラスではより進んだ学習を、低いクラスでは特に少人数で手厚い授業となるようにした。低位層では焦燥感からか学習意欲が増し、共通テストでは平均点が逆転することもあった。中間考査後に再編成を実施。・10月25日甲南大学にて体験講義・施設見学無事終了。・全商情報処理検定2級商業科5名合格 ・大学見学は生徒にとってプラスの刺激、意義あるものとなっている。・大学、専門学校との連携で意欲ある生徒の力を伸ばし、全体の前向きな雰囲気作りとしては一定の成果を上げている。・9/12全商英検1級6名3級21名 ・11/21日商簿記2級1名3級6名 1/23全商簿記検定 1級会計19名(73%)原価会計15名(50%)完全1級13名合格 ・新カリキュラム対応の1年2級57(80%)合格 少人数制授業、毎日遅くまでの補習の成果が上がっている。</p>	<p>1.05</p>	<p>・簿記習熟度別少人数授業実施初年度として一定の成果が上がったが、検定前補習も大きな支えとなっているため、検定取得に向けて指導教員の協力体制や部活動との調整など学校全体としての支援体制の確立が急務。 ・原価計算・ビジネス計算等の前提となる数学基礎力や国語力が定着していない生徒が多く、入学時に基礎学力をつけさせる手立てが必要。 ・商経系大学や専門学校への進学による継続学習の道は拓けているが、連携授業の強化をするなどし、より一層スペシャリスト育成体制の構築を図る必要がある。 ・知識、技能の習得とともに、インターンシップ等の実施により体験的に職業人としての資質を学ばせる機会設定が必要。</p>	<p>A-3B-1</p>
<p>③ 情報処理科 ・国家試験情報処理技術者試験への午前免除制度への取組 ・集中セミナーの実施 ・資格取得の推進 ・小学校との連携事業へ協力</p>	<p>国家試験情報処理技術者試験合格者状況 ・在校生 基本情報技術者試験10名 ITパスポート試験33名 システムアドミニストレーター1名 (うち、H22春:基本7名 ITパスポート7名合格。H22秋: 基本2名 ITパスポート9名合格。) ・午前免除試験13名合格 ・全商情報処理検定2級39名合格 ・課題研究作品のHPへのUP ・下記 他校との連携事業参照</p>	<p>1.14</p>	<p>・企業留学の継続実施について再検討。 ・進路について低学年より希望や経済状況に応じた情報を収集し、適切なアドバイスができるような体制作り。 ・インターンシップを利用し、進路調整に役だてる。IT関連の企業開拓を行い、生徒の就職先を確保。コミュニケーション能力育成の研究。 ・市民専門講師の有効な活用。</p>	

学校関係者評価コメント

・複数志願制度や通学区見直し等で大変難しい時期ではあるが、課題を克服していただきたい。・キャリア教育の見地から進路を考えていく必要がある。・全員が卒業までに社会に役立つ検定資格を取得する必要があると考えます。一年生から卒業時の目標を一人一人が計画する、それで意欲がでるのでは。・大学見学等は良い結果が望めると考えます。・少人数制授業などは検定、合格者のアップにつながっているのではと思います。・少人数授業の実施により、学力がアップしたことは喜ばしく思う。さらなる向上を期待したい。・社会人となった時に必要とされる技術検定等を必ず各々が取得することが務めであると考え、会社訪問を基本として生徒たちの意欲を伸ばしてほしい。会社訪問等で何が自分に必要となるか教師、父母等が教えることも必要となるのでは。マネジメントプラン通りの成果が見られる。・企業留学は大変に難しい社会状態となってきているが、できる限り希望をつないでほしい。

A(3) 進学指導における模試の有効活用。就職指導における職業観の育成

具体的方策(取組内容・状況)	達成状況	自己評価	今後の課題	学校関係者評価
①進学 模試の活用 ・進路指導部による模試受験者に対する事前事後指導を毎回行うことによる、生徒の意識意欲の向上 ・外部講師を導入・スタディサポートへの全教員参加	・7月に3年模試返却時に専門講師による受験勉強指導・1,2年対象模試受験者に専門講師による受験指導実施(12月)・進路決定者に対する学習姿勢継続の指導(英語学習)・1年を通しての学習室運営	0.77	・生徒の自主学習の場所として進路学習室・図書館を利用できたが、利用法・管理に課題がある。・スタボの結果から1年入学から9月の間に学習習慣・意欲の低下が起こり、それが以後2・3年と継続していることが判明。入学時から夏までの指導を早急に検討する。・模試受験の事前・事後指導を毎回実施してきたが、学年・教科との協力が不十分。指導の主体を進路指導部から学年・教科に移行すべき。	A-3B-1
②就職 進路ガイダンスの実施 ・希望者の早期内定	・8月専門講師による面接指導・面接練習を夏休みに2回実施・未決定者に就職フェア等利用して年内内定を目指す。・1・2年生へ市高公務員セミナー案内7名参加 ・内定者指導の実施(12月、2月)・勤労市民課連携でものづくり就業体験セミナー実施(3月) ・1年職業観育成講話「じぶん未来ブック」実施・就職内定43名未定7名、公務員内定4名未定4名1/6現在	1.02	・就職意志の早期決定・準備を2年3学期に・基礎学力を定着させる方策(マナレ利用)・保護者生徒の意志疎通の必要性あり・企業開拓、訪問を職員全員で	

学校関係者評価コメント

・要は生徒のやる気の問題ではないかと思えます。いかにして生徒にやる気を出させるかを検討願いたいものです。・キャリア教育の視点を大切に、「信じあう人間の団結こそ最も強く美しい」との言葉のごとく生徒と教師の絆をこの時に築いてほしい。それが結果となっていく。・今年度も多くの方が大手企業に早期内定されました。「市神」の信頼は卒業生のOB、OGの方々、そして先生のかみ細やかなご指導のおかげで、たくさんの企業からも声がかかるのだと思えました。・就職内定100%を目指してさらなる努力をお願いしたい。・公務員が増加したことが望ましい。

B(1) 規範意識を高め、マナーの向上を図る□

具体的方策(取組内容・状況)	達成状況	自己評価	今後の課題	学校関係者評価
① 本物の価値観 ・生徒会が主体となった活動の実施 ・集会時における啓発活動 ・授業開始、終了時の指導推進 ・時間を守る(遅刻減少) ② 挨拶励行、登下校マナー指導 ③ ボランティア活動の充実	○遅刻統計／全学年 21年度 1学期 318回 9月 531回 10月 849回 22年度 1学期 447回 *前年比40%増 9月 189回 *前年比30%減 10月 190回 *前年比42%増 ○9月遅刻に対する意識喚起の呼びかけ やや減少 ○ボランティア活動 吹奏楽部(秋の全国交通安全運動キャンペーン施設訪問) ダンス部(兵庫区運河祭、会下山フェスティバル) 野球部(地域清掃活動、世界身体障害者野球大会) 商業科(神戸サルビア福祉会ふれあいホーム) ワークキャンプ(古湊保育所、明照保育園) ○遅刻統計／全学年 21年度 2学期 531回 1・2学期 849回 3学期 222回 年間 1071回 22年度 2学期 588回 *前年比11%増 1・2学期 1035回 *前年比22%増 3学期 ?	0.28	○生徒指導に対し、いかにして全教員が当事者意識を持つのか。指導部や学年生徒指導など一部の教員だけでは徹底できない。全教員がその必要性を感じ、教室・廊下など常に校内で指導する必要がある。 ○良い意味でセクト意識をなくすことができるのか(指導部だけが指導するのではない。色々な意味で垣根を取り払う) ○遅刻に関して、現在遅刻数カウントを毎年度リセットしている関係で、毎年同じ生徒が遅刻を繰り返している現状がある。3年間継続カウントにするなどの新たな対策が必要。(教員の意思統一⇒現状を「多い」と感じるか、多くないと感じるか)	C-1A-2B-2

学校関係者評価コメント

・全教員の意思統一を図り、課題に取り組んでいただきたい。・どれだけ声をかけるか、手を入れるかで生徒の意識が変わってくる。・遅刻の生徒には家庭環境もあわせて考えた指導が大事なポイントになるので、家庭訪問からでは・私個人としては、奉仕活動とボランティア活動とは活動の考え方が違っている様に思う。私はボランティアの考え方を学び実働にかかしてほしい。

## B(2) 部活動の活性化□

<p>部活動振興 ・顧問、担任との情報交換を密にし、部活動の入部率、参加率をあげる。 ・活動内容を充実・向上</p>	<p>○入部率74.2%(21年度70.0%) ○OA部県大会団体優勝(2年連続)、近畿大会団体初優勝(H21年2位)、全国大会出場18位 ○女子バレーボール部県ベスト16 近畿大会出場(H21年度同じ) ○野球部県大会ベスト8(H21年度県大会出場) ○男子バスケ部、女子ソフトテニス、柔道が実績ワンランクアップ ○女子バレーボール部県選手権ベスト16 県新人大会ベスト8 ○書道部全国総文選出(2年生) ○ラグビー部H22年度市内リーグ戦部優勝(23年度部昇格)</p>	0.61	<p>○運動部においては、「有望新人確保」という点において、私学がその利点を生かして新人を確保していく中で、公立は大きく差をあげられている。各種大会でも結局上位は「私学」で独占されているのが現状であり、その壁を崩すのは並大抵ではない。そういうスタートから不利な状況の中、少しでも部員を確保するために中学校との交流を深め、少しでもやる気のある新入部員を確保する必要。 ○入部後、顧問の工夫でそれぞれの部活動への定着を図る。戦績アップだけではない部活動の魅力をつくる。</p>	A-4B-1
--	---	------	--	--------

### 学校関係者評価コメント

・ダンス部は地域の活動に参加していただき、交流が深まりとけこんでいただけたと思います。今年もお願いしたいです。・文化部も体育部も大会での成績アップは次年度の入部率向上につながると思います。・昨年夏の野球部の活躍には感動しました。今後の活躍を期待しています。・部活動見学会の工夫・高校中学時代での部活動で養った友人、知人関係や精神は、社会人になって初めてわかる様な気がする。全員が入部し自由活動を。

## C(1) 中学校への広報活動の充実□

<p>中学校への新聞のタイムリーな記事の編集計画・中学校訪問 ・3学科および普通科複数志願制度について説明 ・マスコットキャラクターの活用</p>	<p>・6月学校訪問実施、新聞提供 ・8月24、25日商業科、情報処理科見学会 参加中学校校 参加生徒505名 保護者113名 付き添い教員60名 体験入部203名・中学校への新聞配布 ・11月6日情報処理科見学会・情報処理科体験授業123名(H21 114名) ・商業科・情報処理科見学会550名 ・普通科オープンハイスクール812名・「しんぱち」カンパジの作成 ・12/1～1/12 花時計ギャラリーの商業科展示とともに・美術科、書道科の作品展示1/12～1/19兵庫区勤労市民センター</p>	1.02	<p>・中学校新聞のための、各学年、各科、各部のバランスの良い情報収集</p>	A-3B-1
---	---	------	---	--------

### 学校関係者評価コメント

・マネジメントプラン通りの成果が見られる。・オープンハイスクールの方法の改良・生徒たちの学校訪問は大変だが続行し、役に立ててほしい。

C(2) 他校種との連携の充実□

<p>小学校との連携充実 ・地域学習や安全学習 連携校を、小学校に呼 びかけ</p>	<p>・会下山小、魚崎小、兵庫大開小、池田小、下畑台小、岩 岡小の6校と連携(合計20校) ・下畑台小30周年記念事業(11/6)、池田小近畿社会科 発表会(10/22)、魚崎小ハザードマップ発表会(1/14)、会 下山小会下山宣伝株式会社発表会(1/21) ・人と防災未来センターとの連携(11/26)・わんぱくキッ チン11/11 西野幼稚園・学社連携11/16 神戸市立博物館 出前授業・マイタウンマップコンクール応募12/1財団法人 コンピュータ教育開発センター主催・連携小学校(19校 済、5校資料待ち) ・合同校区探検(会下山・池田・魚崎) ・合同発表会(下畑・池田・魚崎・会下) ・池田小2年生の校区調べ発表会参加 ・人と防災未来センター連携 ・小社研でのプレゼン ・こべっこマップVer.2.4開発</p>	<p>1.23</p>	<p>・こべっこマップの小学校に対する連携の拡大 ・こべっこマップを進めるための活動資金の確保 ・こべっこマップのサーバをKIIFへ移行(公式の事 業としての認可)</p>	<p>A-5</p>
--	---	-------------	--	------------

学校関係者評価コメント

・会下山小学校においては今年度の取組がよいので毎年していただきたいと思ひます。・マネジメントプラン通りの成果が見られる。・よく頑張っている。・体験活動が必要、防災未来センター等の見学は全員がなすべきで、自分自身を守り他人への思いやりを培う活動を見出してほしい。

C(3) 図庫管理の充実と情報発信□

<p>学校評価、外部評価、 保護者アンケート、授 業アンケートの実施と 結果公表</p>	<p>・緊急連絡用としての携帯メールの研究 9/16PTA運営 委員会説明 ・ホームページの更新(28件アップロード) ・ホームページのアクセス数(76,000件・・・1年4ヵ月)今秋 から開始 登録数462名(11/5現在65.7%)・ホームページの 更新は年45回更新 (月平均4回以上達成) ・話題の内容を新着情報として提供 (1日平均150名のアクセス)</p>	<p>0.95</p>	<p>・緊急連絡用として携帯メールをPTAの協力を得 て、開始したが、登録件数がまだ十分とはいえない。 新入学生から100%の登録が出来るよう説明 会でも話をする。 ・ホームページの内容をさらに充実するために、幅 広い情報を収集していく必要がある。 ・保護者アンケートの回収率41% この数字を6割 を超えるよう具体的方策を検討する。 ・Webページのための、各学年、各科、各部のバラ ンスの良い情報収集</p>	<p>A-2B-2</p>
--	---	-------------	--	---------------

学校関係者評価コメント

・来年度の課題を着実に克服していただきたい。・教師から生徒へ、生徒から親へはやはり抵抗があると思うので連絡方法について何か工夫を。

1:達成できた	+2
2:ほぼ達成できた	+1
3:あまり達成できなかった	-1
4:達成できなかった	-2

A: 自己評価及び改善の方策は適当である
B: 自己評価及び改善の方策は概ね適当である
C: 自己評価及び改善の方策は適当でない

### 学校関係者その他の意見

・学校関係者委員として、何一つお役にたてませんでしたが、子供が三年間「市神」で明るく、楽しく、伸び伸びと過ごさせていただき、親子ともども「自慢」の一つになる事と思います。今以上に地域に愛され、明るく元気な伸び伸びとした子供たちがともに学び、豊かな心で社会に貢献して欲しいと思います。心より感謝いたします。ありがとうございました。